

GELCHOPの



レッツD.I.Y.

月イチでD.I.Y.なものづくり。

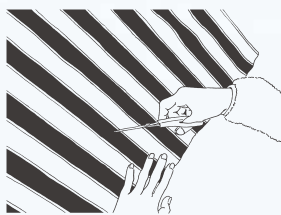
ジャケットの下の ニュースタイル。

Product_name

Necktie & Pants

Material

- ・ネクタイ用の生地 (90cm幅) 1m程度
- ・オペロンコールゴム (1cm幅) 1m程度
- ・糸 生地に合わせて
- ・スプリングホック 1組



2.家庭科の授業を思い出しながら、思い切りよく！

How to make

- 1 ネクタイ部、パンツ部の型紙を起こす。ネクタイの装着は、首の後ろでホック式。いざというときに慌てないように。
- 2 ネクタイ部とパンツ部の型紙を繋げ、生地パターンの向きに注意し、型紙をあてがい、生地をカットする。
- 3 折り目に合わせてアイロンをあてる。
- 4 縫製の必要なところをミシンや、手縫いで縫い合わせる。パンツにはゴムを入れよう。
- 5 ネクタイの結び目を作り、試着し、ネクタイ～パンツの長さを調整。
- 6 首に回す部分を切断し、長さが調整できるようにゴムとホックを縫い付ける。
- 7 Yシャツを着て、パンツをはき、ネクタイを結び、ジャケットを羽織り、鏡でチェック。バッチリキマっていたら、OK。さあ出かけよう。

ネクタイ&パンツ 実はこれ、敬愛するジャック・カレルマンの1960年代のイラストをカタチにしたもの。朝の時間の無駄を省くためとコメントされているが、どう考えても男の貞操帯。男たるもの一歩表に出るときは下々をキュッと引き上げ、いつ何時、下々に急用があろうとも慌てずエレガントに嘖むべし。そんな男の身だしなみを描いたのではなからうか。な～んてことはどうでもいいや、enjoy spring!

ゲルチョップ | D.I.Y.造形グループ。モリカワリョウタ、オザワテツヤ、タカハンリョウヘイがメンバー。ゲルチョップのウェブサイトでは「レッツD.I.Y.」の過去の作品も見られます。

はみだしのDIY

おのれの領域を守るためであろう、時折見かける道端の赤い円錐、カラーコーン。踏まれたり蹴られたりしながらも、車や自転車を置くなど無言の主張をする姿は、時にけなげに見えたりもする。とある家先の赤い兵隊は、先端部分に各々違う持ち手の加工が施されている。ただ穴が開けられワイヤを通してあるモノから、ホースを併用し、持ち具合を調整したモノまで、徐々に変化したのである。進化の過程が垣間見えて面白い。どうやら日々の兵隊配備のためのDIYのようだけど、若干受け入れがたい気分がするのはいくらも考え過ぎだろうか……。

